



東証スタンダード市場
証券コード 9265



2023年 5月期 決算説明会

連結累計期間：2022年6月1日～2023年5月31日

2023年 7月 21日

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社



【会社概要】



会 社 名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本社所在地	福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル10階
資 本 金	4億9,402万5,000円
事 業 内 容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業 会社の経営管理、及びそれに付帯する業務
代 表 者	代表取締役 執行役員 社長 山下尚登
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コード	9265
決 算 期	5月



【グループ概要】



ヤマシタ ヘルスケア ホールディングス

YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.

山下医科器械 (株)

汎用から高度医療機器、一般消耗品等の販売からアフターフォローまで、また医療IT構築や医療設備工事など多岐に渡って展開



(株) イーピーメディック

整形外科領域の体内埋没材料（インプラント）を自社にて企画・製造委託・輸入・販売を全国的に行う



(株) トムス

人工腎臓関連分野に強みをもち、透析装置や関連消耗品の販売の他、泌尿器関連機器の販売やメンテナンスを行う



(株) アシスト・メディコ

医療機関の経営支援、介護施設を含む病床転換・M&A・事業承継等コンサルティング事業に特化したサービスを提供



(株) イーディライト

医療機関の予約サイト制作取次やホームページ制作等、インターネットを活用したソリューションサービスを提供



エムディーエックス(株)

DX新技術を活用した、医療・介護施設・在宅向けの新たな製品の開発、及び製品の販売・レンタル・保守サービスを行う



注記

- 出資したマイクロソニック株式会社は2023年5月期第2四半期に持分法適用会社化としました。
- 株式会社クロスウェブの全株式を近日中に取得し、連結子会社化を予定しています。





【当社グループの事業拠点】



山下医科器械

佐賀支社・武雄営業所・唐津営業所・TMSセンター・鳥栖物流センター・鳥栖SPDセンター

山下医科器械

佐世保本社・佐世保支社・長崎支社・長崎中央営業所・島原営業所・五島営業所・対馬営業所・長崎物流センター

山下医科器械

熊本支社・八代営業所・天草連絡所

トムス 熊本営業所

山下医科器械

鹿児島支社・奄美連絡所

トムス 鹿児島営業所

福岡県

佐賀県

長崎県

大分県

熊本県

宮崎県

鹿児島県

ヤマシタヘルスケアHD 本社

山下医科器械

福岡本社・福岡支社・北九州支社・筑後支社・福岡西営業所・筑豊営業所・大牟田営業所・メディプラザ・福岡SPDセンター・医療環境センター

イーピーメディック 本社

トムス 本社・福岡営業所・北九州営業所

アシスト・メディコ 本社

イーディライト 本社

エムディーエックス 本社

山下医科器械

大分支社・中津連絡所

山下医科器械

宮崎営業所

広島県

ヤマシタヘルスケアHD 東手城ヘルスケアモール

トムス 中国営業所

東京都 **エムディーエックス** 東京オフィス



1. 2023年5月期 業績の概況

- 2. 事業分野別概要
- 3. 決算概要
- 4. 中期経営計画
- 5. 長期ビジョン
- 6. 今期の見通し
- 7. 当社グループに関するご案内



【注記：業績概況の前に】



当社は「**収益認識に関する会計基準**」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を、前2022年5月期 期首より適用しております。

2021年5月期以前の売上高数値は、旧会計基準に基づいた数値によるもので、2022年5月期以降の売上高数値と単純に比較することができません。この点ご理解いただきますよう、お願いいたします。

なお、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該会計基準等適用による影響はございません。



売上高、営業利益、および経常利益はともに順調に伸びたが、事業子会社における特別損失6億11百万円を計上したため、当期純利益は減益

(単位：百万円)

	2022年5月期 (第5期)	2023年5月期 (第6期)	増減額	前年同期比 (%)
売上高	55,145	58,195	3,050	105.5%
売上総利益	7,724	8,048	324	104.2%
販売費及び 一般管理費	6,793	6,892	99	101.5%
営業利益	930	1,156	226	124.3%
経常利益	1,003	1,206	203	120.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	696	219	△ 477	31.5%



【注記：特別損失について】



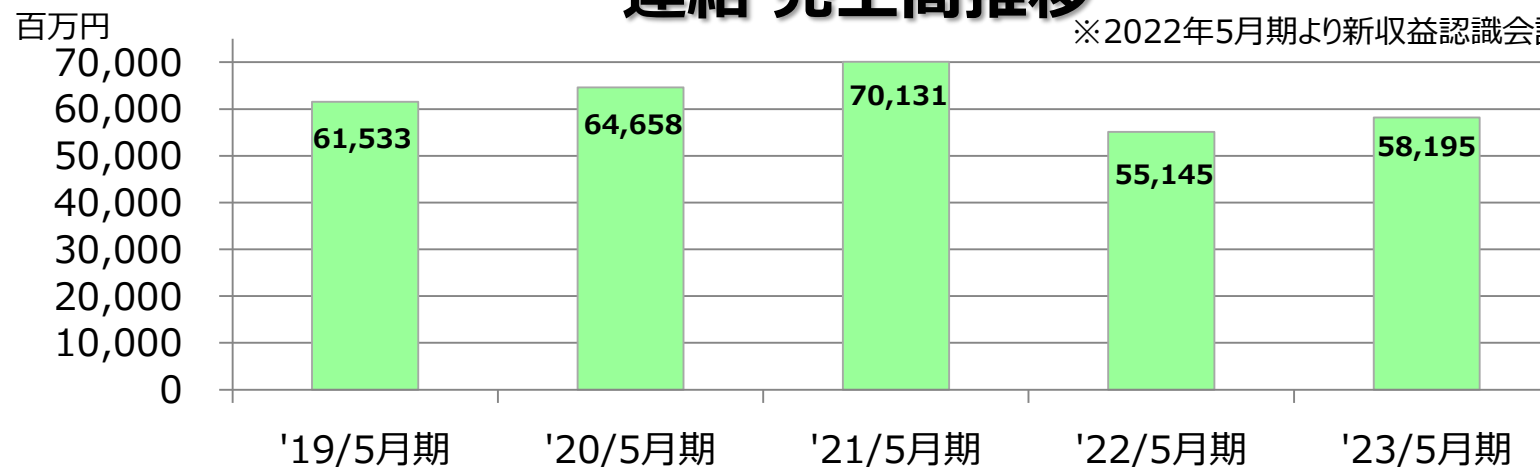
当社の連結子会社である山下医科器械株式会社の取引先にて債権の取立不能または取立遅延が発生し、2023年5月期第2四半期において、当該債権611百万円を特別損失の貸倒引当金繰入額として計上いたしました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は 219百万円となりました。

現在、与信調査のシステム化、債権管理の強化といった運用面を見直し、原因に対する再発防止策を講じております。

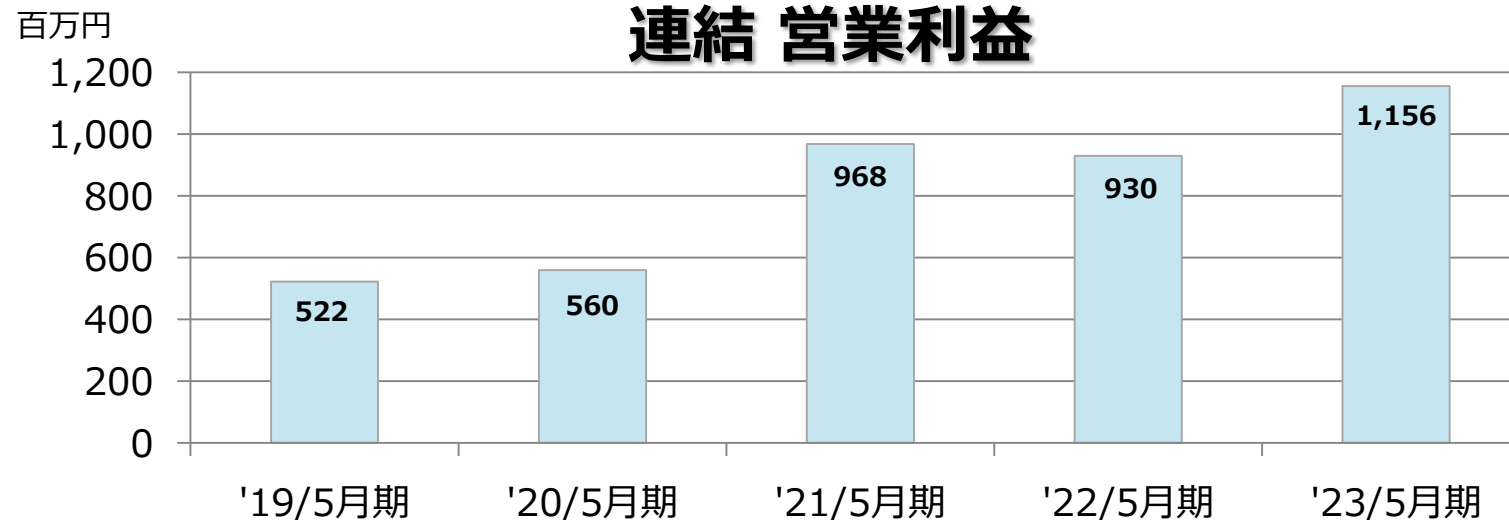


連結 売上高推移

※2022年5月期より新収益認識会計基準を導入



連結 営業利益

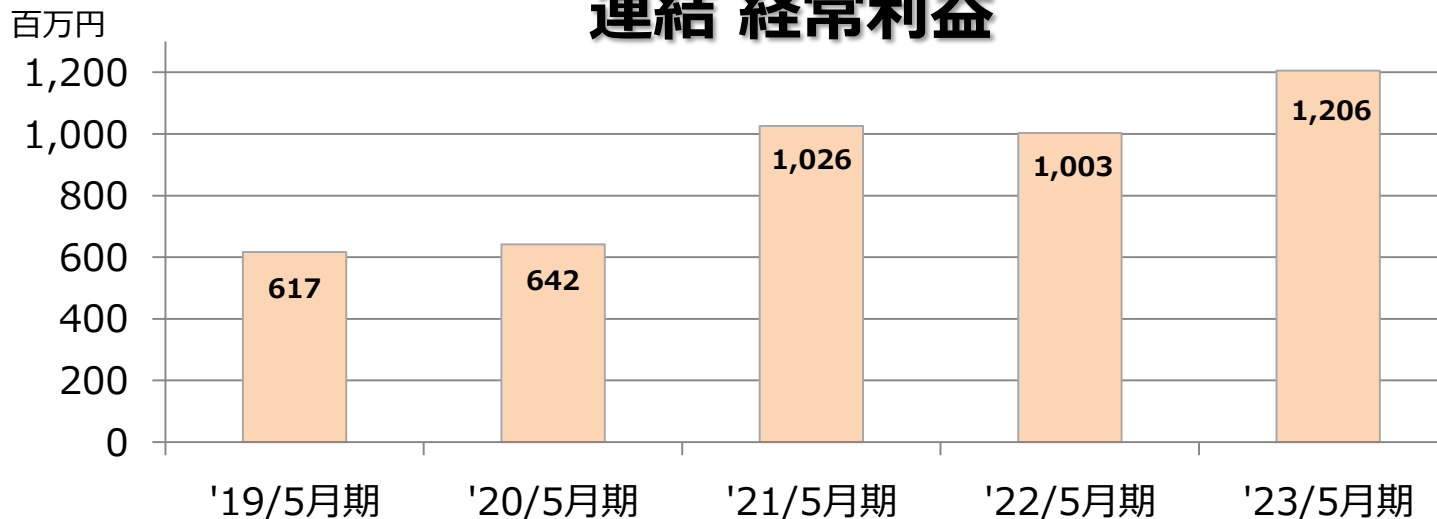




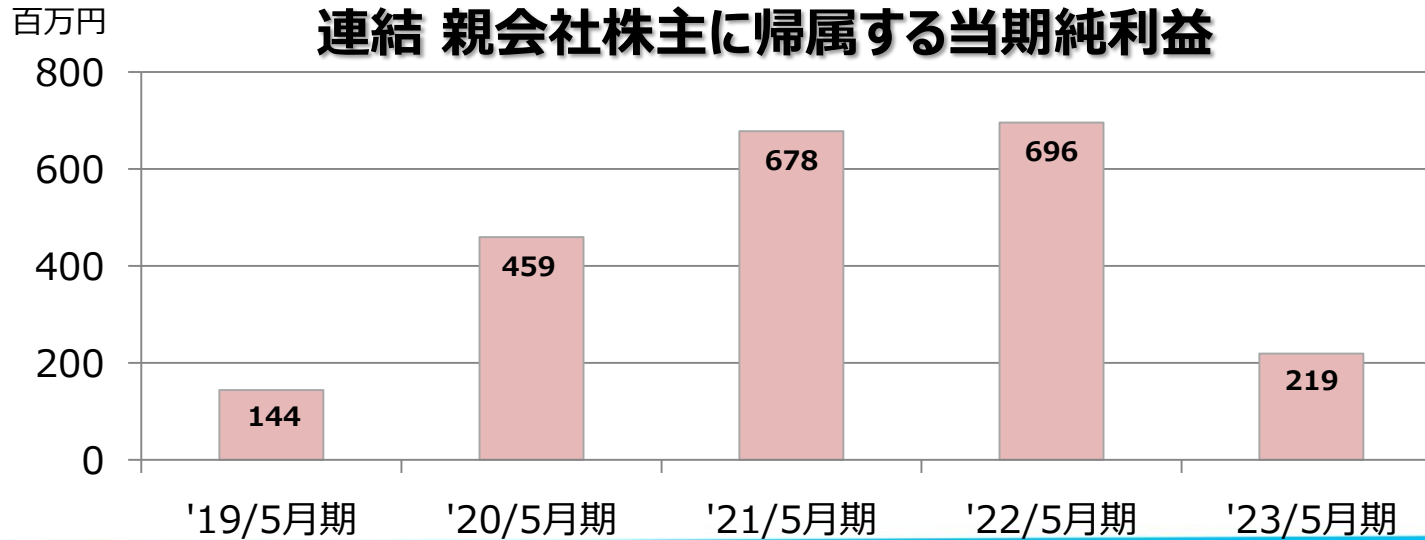
【連結経常利益・連結当期純利益推移】



連結 経常利益



連結 親会社株主に帰属する当期純利益

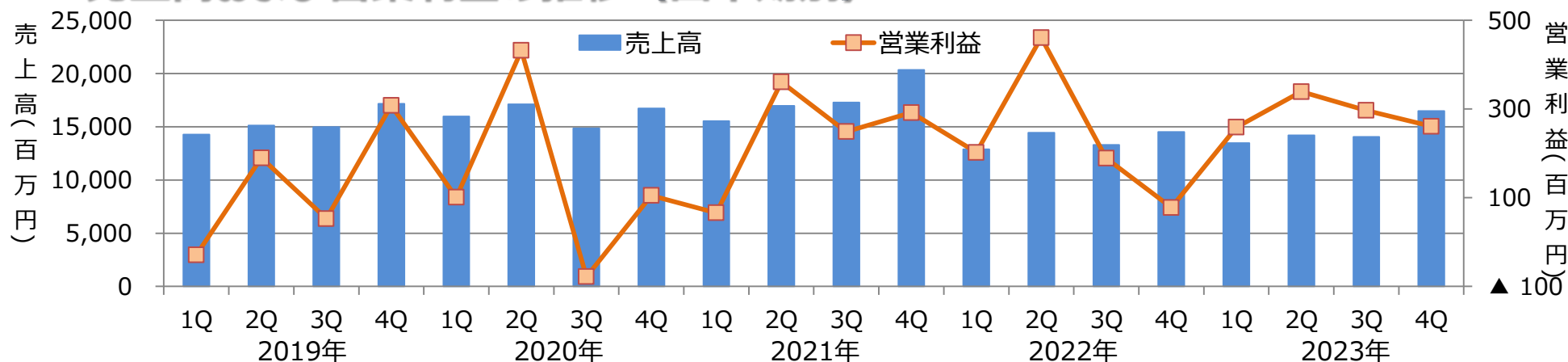




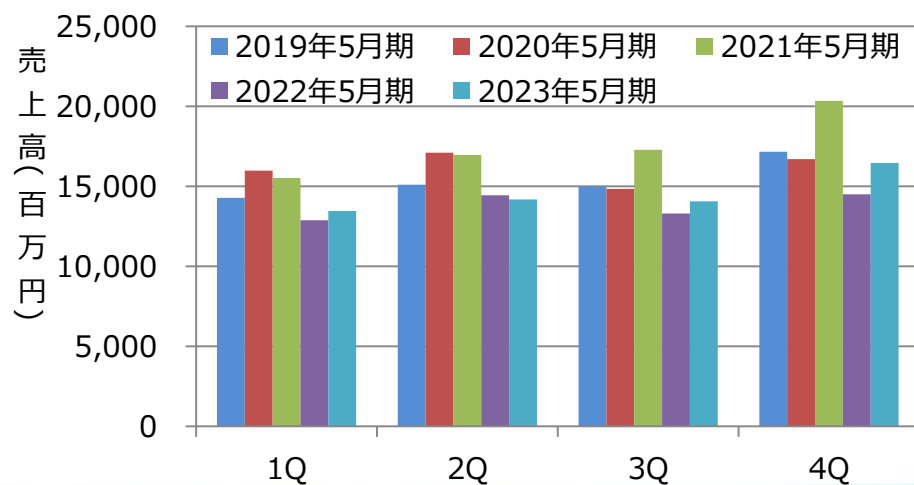
【連結売上高・営業利益業績】



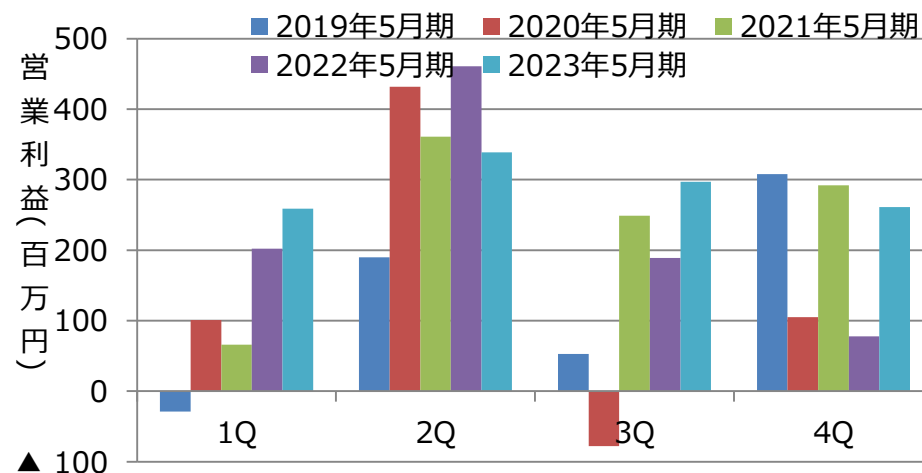
売上高および営業利益の推移（四半期別）



売上高の推移（四半期別）

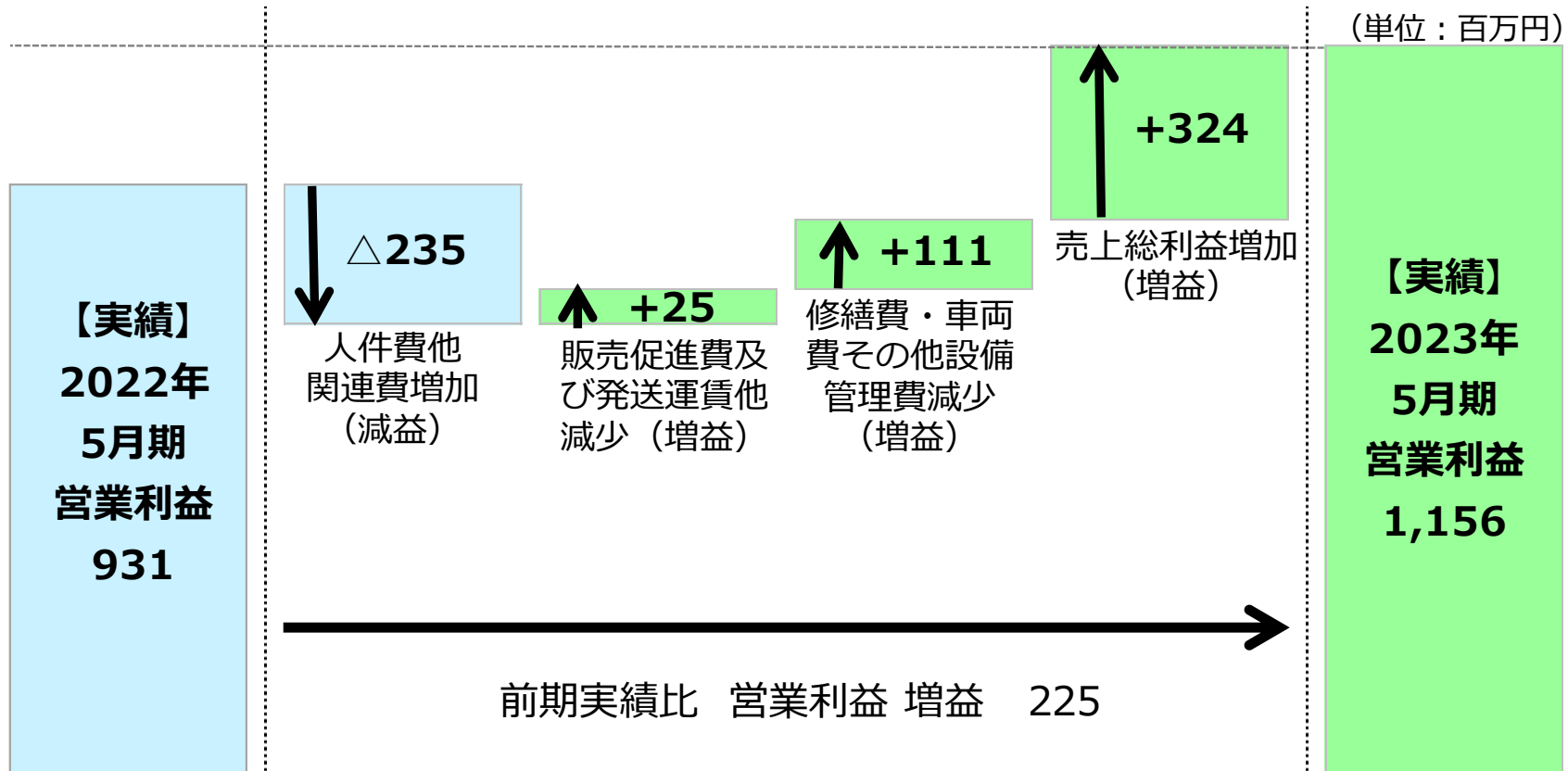


営業利益の推移（四半期別）





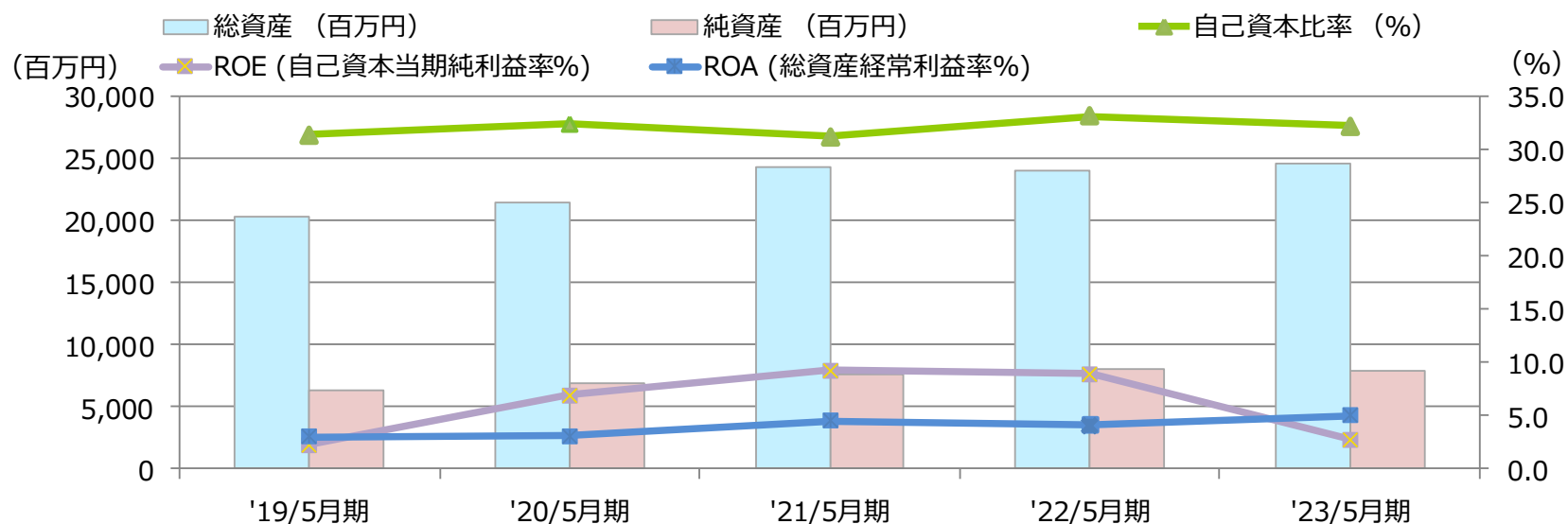
➤ 前期比 営業利益 増益の要因





連結貸借対照表推移

	'19/5月期	'20/5月期	'21/5月期	'22/5月期	'23/5月期
総資産（百万円）	20,320	21,425	24,322	24,086	24,568
純資産（百万円）	6,372	6,938	7,579	8,005	7,924
自己資本比率（%）	31.4	32.4	31.2	33.1	32.2
ROE（自己資本当期純利益率%）	2.3	6.9	9.3	8.9	2.8
ROA（総資産経常利益率%）	3.0	3.1	4.5	4.1	5.0





1. 2023年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



【事業分野別の販売実績】



各セグメント業績

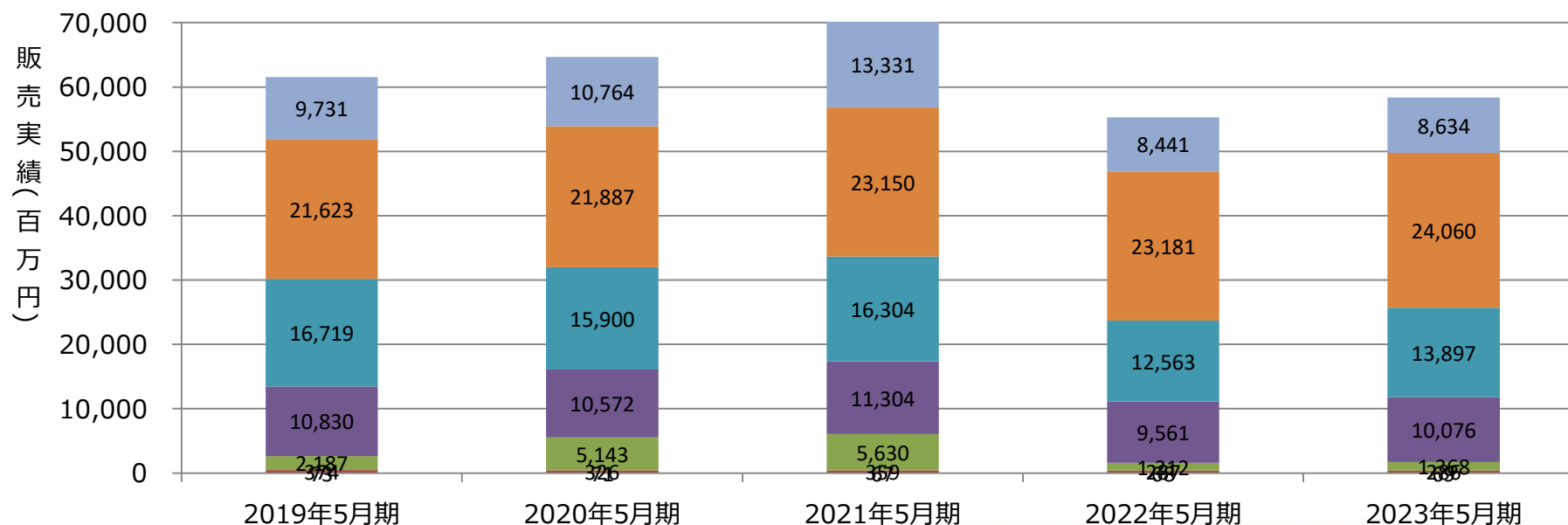
		前 連結累計期間		当 連結累計期間		増減額 (百万円)	前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
① 医療機器販売業	一 般 機 器 分 野	8,441	15.3%	8,634	14.8%	192	102.3%
	一 般 消 耗 品 分 野	23,181	42.0%	24,060	41.3%	879	103.8%
	低 侵 襲 治 療 分 野	12,563	22.8%	13,897	23.9%	1,333	110.6%
	専 門 分 野	9,561	17.3%	10,076	17.3%	514	105.4%
	情 報 ・ サ ー ビ ス 分 野	1,212	2.2%	1,368	2.4%	156	112.9%
小 計		54,960	99.7%	58,037	99.7%	3,077	105.6%
② 医療機器・製造販売業		287	0.5%	286	0.5%	△ 1	99.7%
③ 医療モール事業		68	0.1%	69	0.1%	1	101.5%
④ セグメント間取引		△ 170	-0.3%	△ 197	-0.3%	△ 27	—
合計 ①+②+③+④		55,145	100%	58,195	100%	3,050	105.5%

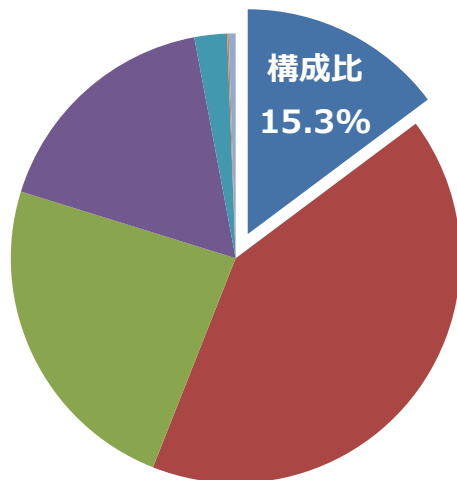


【各事業分野別販売実績】



- 一般機器分野：治療用機器、CT、MRI、モニタリング 等
- 一般消耗品分野：手術用医療材料、輸液・輸血関連、医療用消耗品 等
- 低侵襲治療分野：内視鏡本体、IVE、消化器用・血管内治療用カテーテル・ステント 等
- 専門分野：人工関節類、検査機器、眼科備品、皮膚・形成備品、透析関連品 等
- 情報・サービス分野：医療ガス、設備工事、医療廃棄物収集、医療用ICT機器、メンテナンス 等
- 医療機器製造・販売業：整形外科用インプラント製造販売（グループ開発製品）
- 医療モール事業：運営医療モール賃料収入





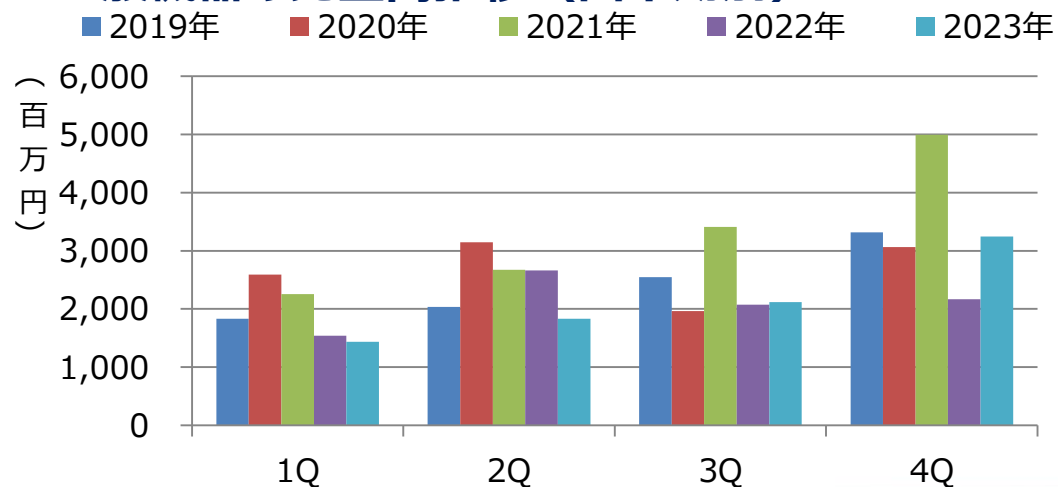
【一般機器分野】

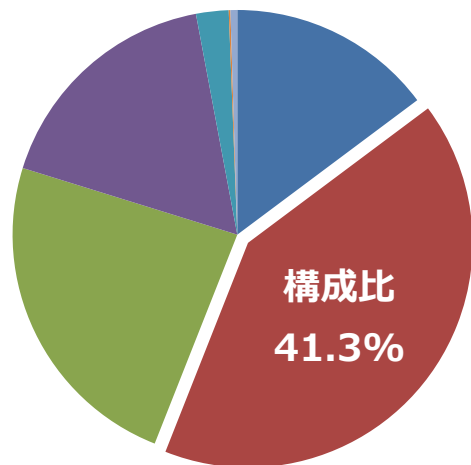
■ 売上高： 86億34百万円

■ 前期比： 2.3%増

一般医療機器やMRI・CT等の画像診断機器、放射線診断装置および超音波診断装置等の売上による増加

■ 一般機器の売上高推移（四半期別）



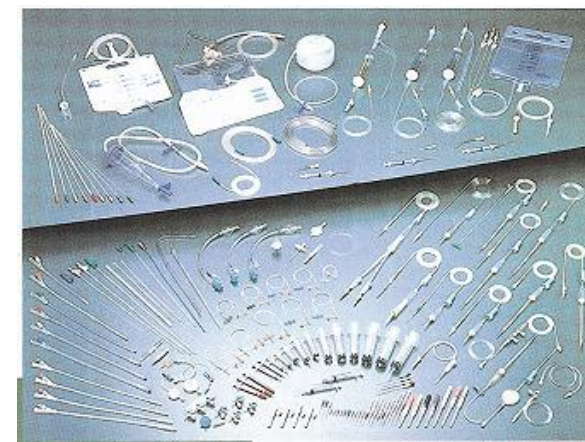
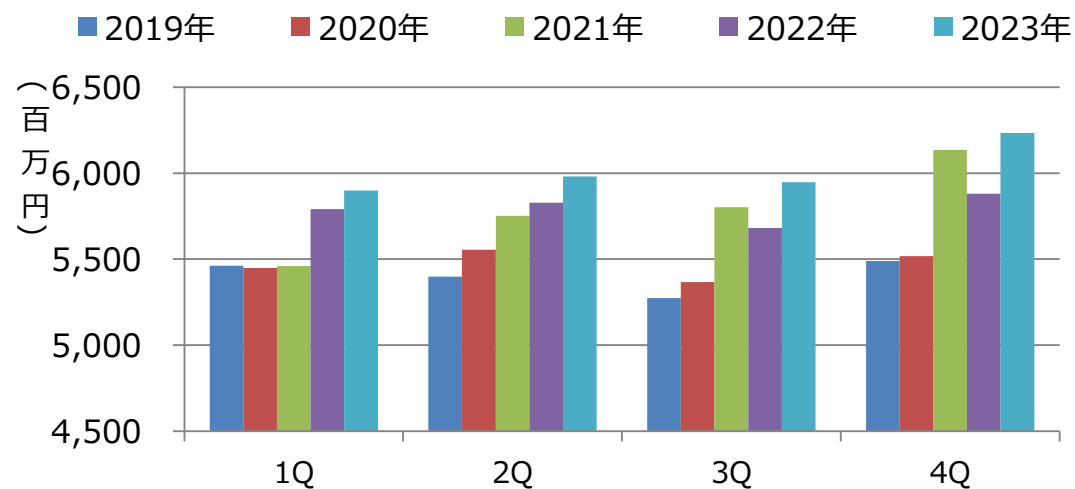


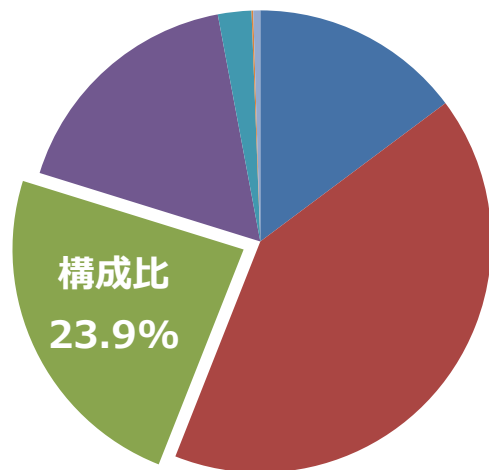
【一般消耗品分野】

- 売上高： 240億60百万円
- 前期比： 3.8%増加

汎用消耗品、感染対策消耗品および手術関連消耗品等の売上による増加

■一般消耗品の売上高推移（四半期別）





【低侵襲治療分野】

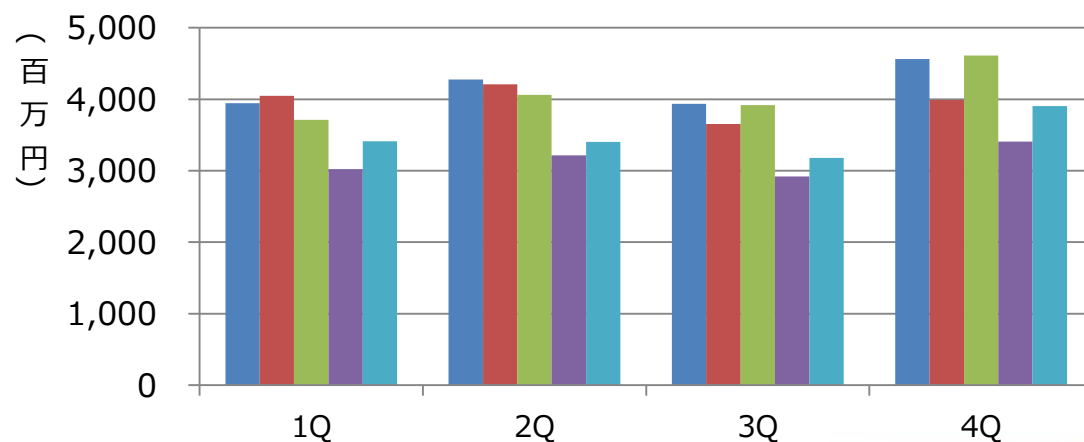
■ 売上高： 138億97百万円

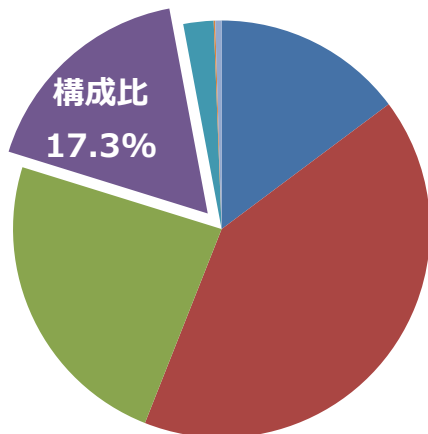
■ 前期比： 10.6%増

消化器内視鏡や腹腔鏡内視鏡手術システム等のサージカル備品、血管内治療、関連消耗品の売上による増加

■ 低侵襲治療分野の売上高推移（四半期別）

■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年





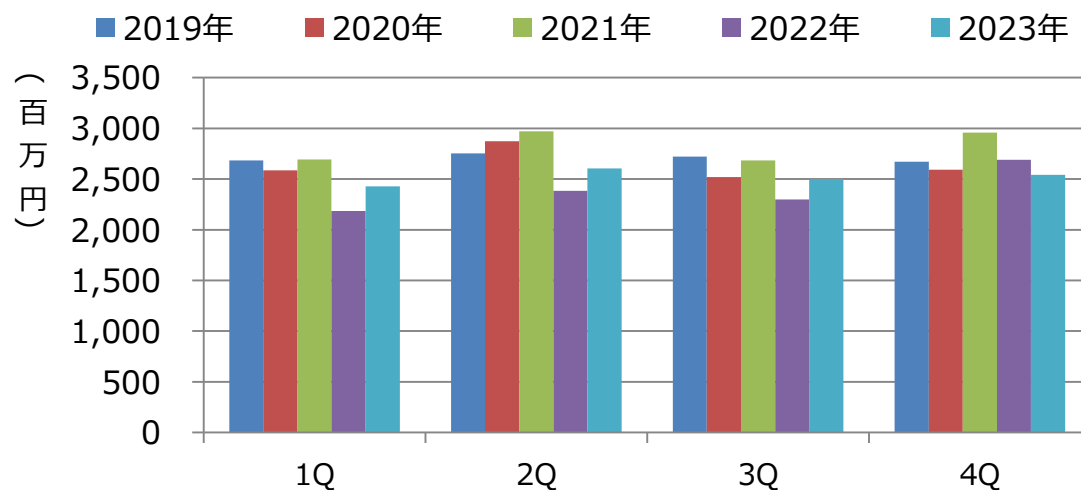
【専門分野】

■ 売上高： 100億76百万円

■ 前期比： 5.4%増

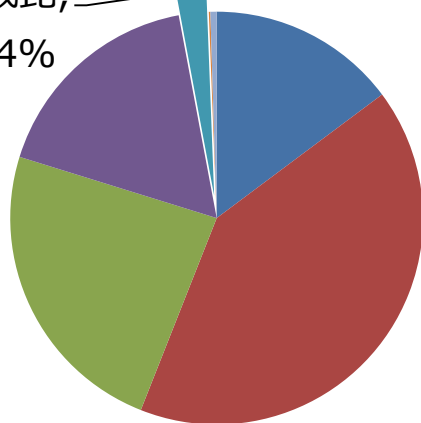
人工関節類、臨床検査装置、眼科用検査機器、
皮膚・形成備品、透析関連品等の売上による増加

■ 専門分野の売上高推移（四半期別）





構成比,
2.4%



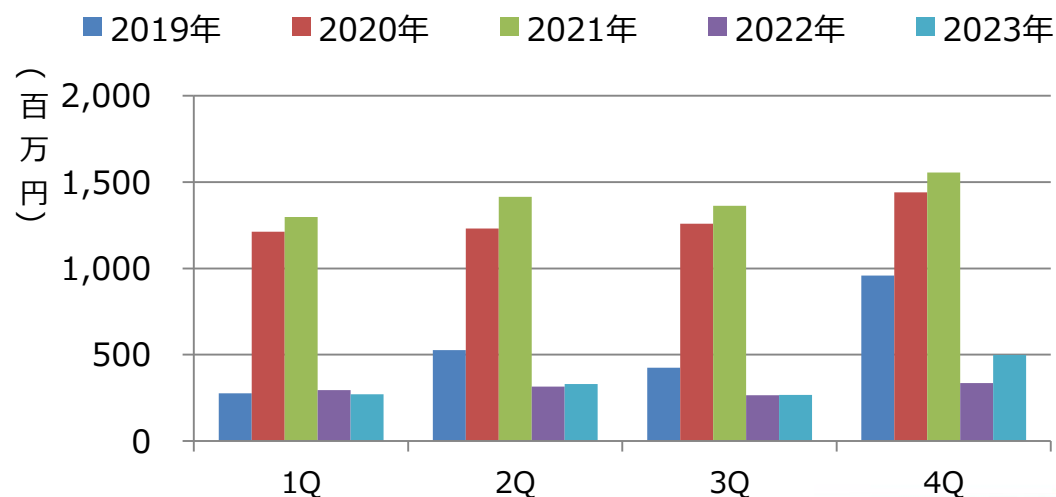
【情報・サービス分野】

■ 売上高： 13億68百万円

■ 前期比： 12.9%増

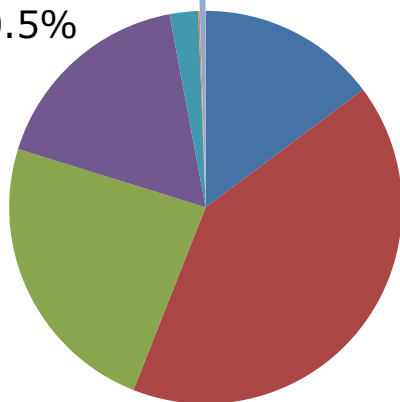
電子カルテシステムといった医療用ICT機器、医療ガス、設備工事、メンテナンスサービス、医療廃棄物収集等の売上による増加

■ 情報・サービス分野の売上高推移（四半期別）





構成比,
0.5%



【医療機器製造・販売業】

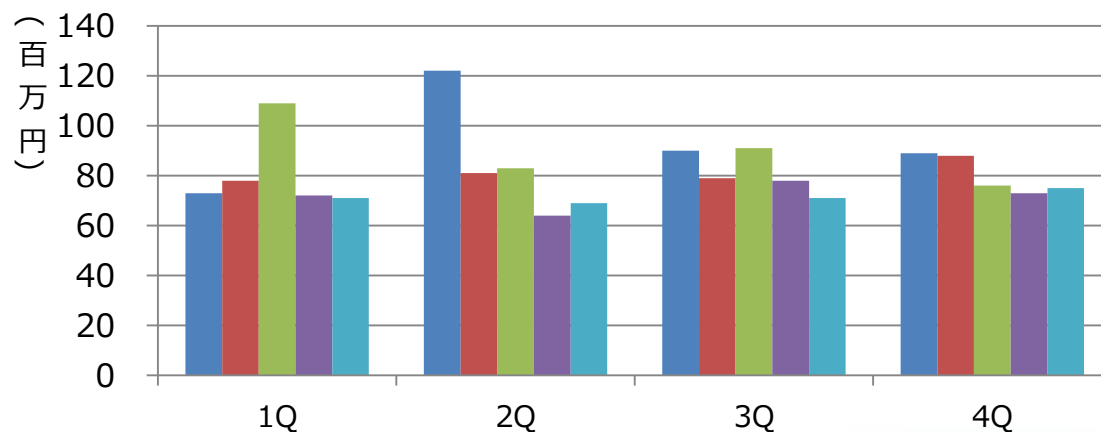
■売上高： 2億86百万円

■前期比： 0.4%減

グループ開発製品である整形外科用インプラントの製造・販売

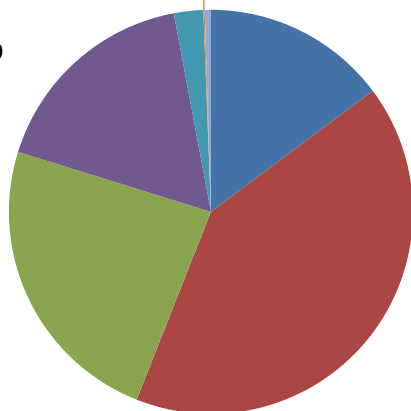
■医療機器製造・販売業の売上高推移（四半期別）

■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年





構成比
0.1%



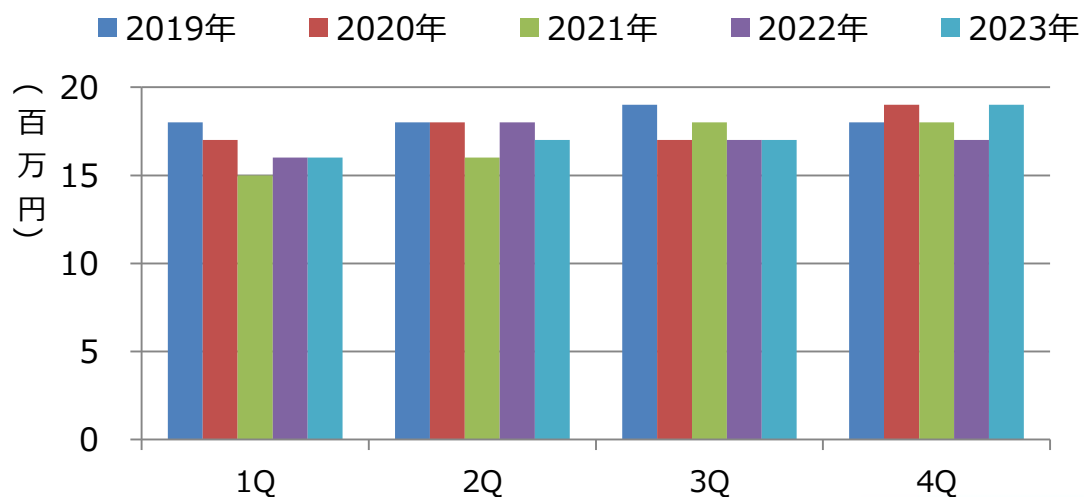
【医療モール事業】

■ 売上高： 69百万円

■ 前期比： 1.1%増

東手城ヘルスケアモール（広島県福山市）運営
による賃料収入

■ 医療モール事業の売上高推移（四半期別）





1. 2023年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



【連結損益計算書】



(百万円)

	2022年5月期	2023年5月期	増減額	対前年比 (%)
売上高	55,145	58,195	3,050	105.5%
売上総利益	7,724	8,048	324	104.2%
販売管理費	6,793	6,892	99	101.5%
営業利益	930	1,156	226	124.2%
経常利益	1,003	1,206	203	120.2%
税引前当期純利益	1,025	635	△ 390	62.0%
親会社に帰属する当期純利益	696	219	△ 477	31.5%
EPS 一株当たり当期純利益 (円)	272.67	85.83	△ 187	31.5%
ROE 自己資本当期純利益率 (%)	8.9	2.8	△ 6	31.5%



【連結貸借対照表】



(百万円)

	2022年5月期		2023年5月期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
流動資産	18,793	78.0%	19,516	79.4%
現金・預金	3,975	16.5%	5,825	23.7%
売上債権	11,906	49.4%	10,492	42.7%
棚卸資産	2,683	11.1%	2,891	11.8%
固定資産	5,293	22.0%	5,052	20.6%
有形固定資産	3,463	14.4%	3,326	13.5%
投資有価証券	1,149	4.8%	1,015	4.1%
貸倒引当金	-1	0.0%	-612	-2.5%
総資産	24,086	100.0%	24,568	100.0%
流動負債	15,555	96.7%	16,139	97.0%
仕入債務	13,902	86.4%	14,479	87.0%
未払法人税等	127	0.8%	334	2.0%
固定負債	525	3.3%	504	3.0%
負債合計	16,081	100.0%	16,644	100.0%
純資産合計	8,005		7,924	
負債及び純資産合計	24,086		24,568	



【連結キャッシュ・フロー計算書】



(百万円)

	2022年5月期	2023年5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	581	2,166
税引前当期純利益	1,025	635
売上債権の増減額 (△は増加)	247	1,414
棚卸資産の増減額 (△は増加)	241	△ 205
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 604	577
法人税等の支払額	△ 488	△ 252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27	△ 107
有形固定資産の取得による支出	△ 107	△ 45
子会社株式取得による収入	100	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	323	1,849
現金及び現金同等物の期末残高	3,975	5,825



【方針①】株主資本利益率（ROE）10% を目標

- ✓ 健全な財務体質を維持しつつ、収益構造を見直し、株主資本の効率的運用により企業価値を向上させる

【方針②】自己資本比率 30%以上 の維持

- ✓ 環境が更に厳しくなることが予想される中、財務基盤の安定性を重視

【方針③】配当性向 30%

- ✓ 株主・社員・会社の三者のバランスを重視した利益還元を維持

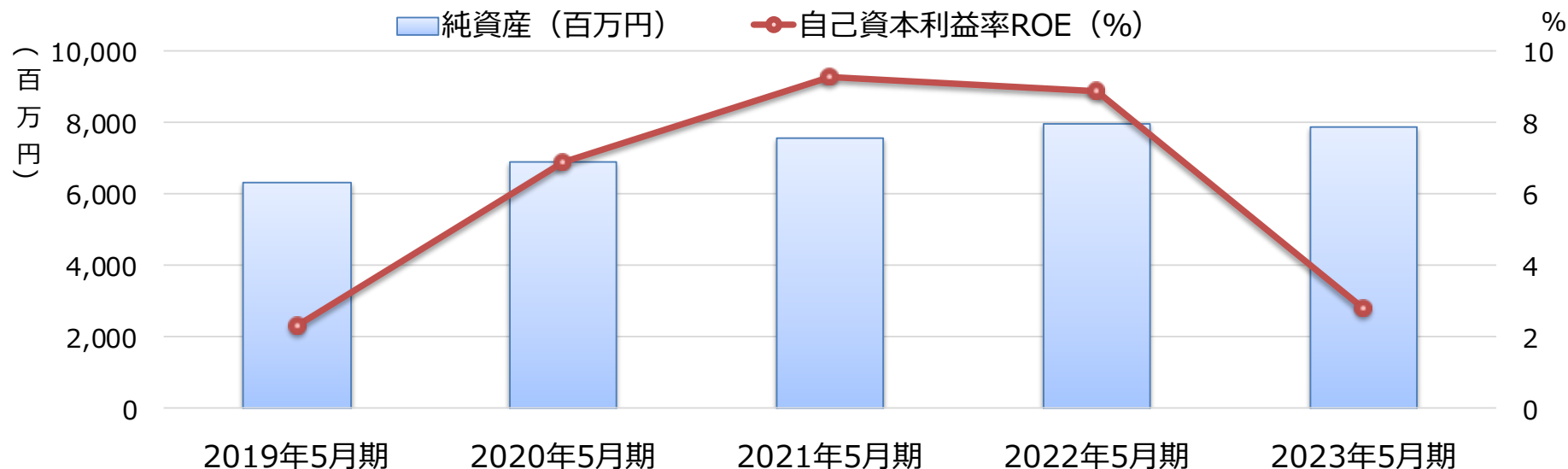


【方針①】株主資本利益率（ROE）10%



堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

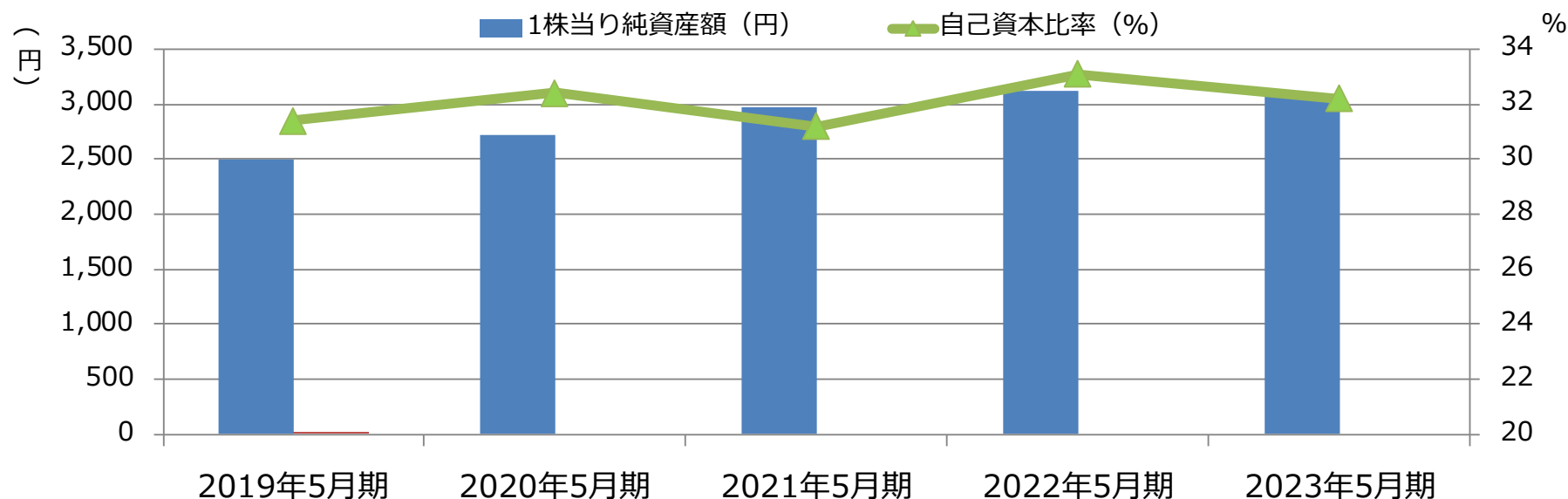
	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
純資産（百万円）	6,372	6,938	7,579	8,005	7,924
自己資本利益率ROE（%）	2.3	6.9	9.3	8.9	2.8





健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める

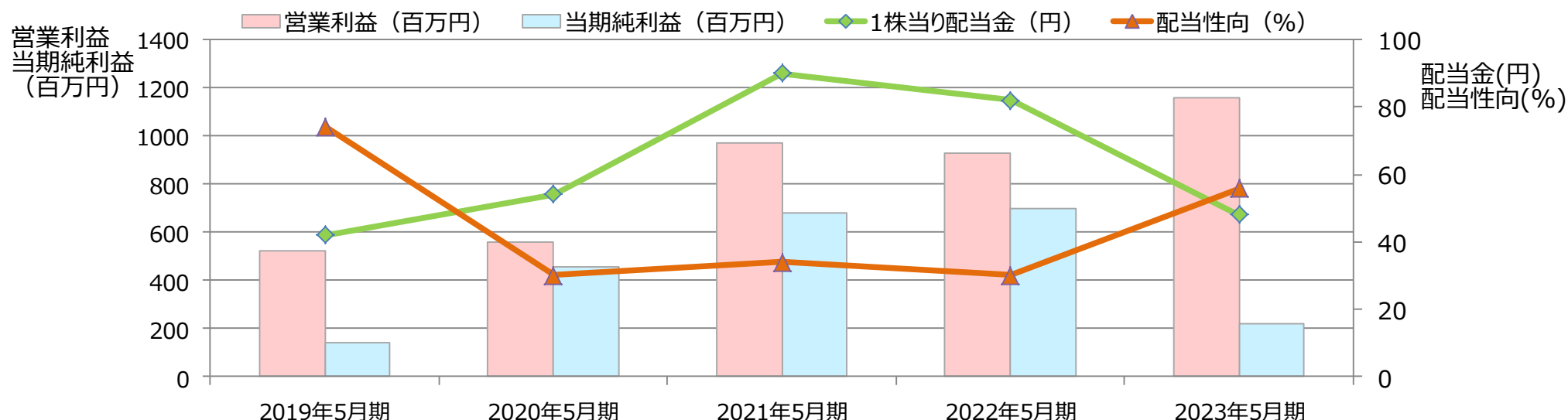
	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
1株当り純資産額 (円)	2,496	2,717	2,969	3,126	3,097
自己資本比率 (%)	31.4	32.4	31.2	33.1	32.2





配当の安定性に配慮

	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
1株当り配当金 (円)	42	54	90	82	48
営業利益 (百万円)	522	560	968	930	1,156
当期純利益 (百万円)	144	459	678	696	219
配当性向 (%)	74.2	30.0	33.9	30.1	55.9





1. 2023年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要

4. 中期経営計画

5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内



2024年5月期に向けた中期経営計画では、次のような「基本方針」「主要施策」「業績目標」を掲げております。

【基本方針】

『持続成長可能な体制構築を目指し、継続的な収益拡大に向け、ヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る』

【主要施策】

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) グループ経営管理機能の強化
- (4) ダイバーシティ環境の実現
- (5) ESG 経営への取り組み
- (6) 戦略的人材マネジメントの確立



【業績目標】 本計画最終年度となる「2024年5月期の業績目標」

(単位：百万円)

	2023年5月期 実績	2024年5月期 業績目標	中期経営計画		
			2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
売上高	58,195	54,215	49,800	50,900	52,000
営業利益	1,156	641	540	570	620
経常利益	1,206	682	580	630	680

中期経営計画の基本方針「持続成長可能な体制構築を目指し、継続的な収益拡大に向け、ヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る」を踏まえ、2024年5月期の業績目標を設定。



1. 2023年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 中期経営計画
- 5. 長期ビジョン**
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内

当社グループは、不確実で先が読みにくい時代が続くものと認識し、サステナブルな成長を実現するため、8年後の当社グループのありたい姿を見据えた、長期ビジョンを策定いたしました。

私たちがありたい姿を掲げ、当社グループとして価値観を共有し、また組織力の向上を図ることを目的としています。



「マルチプライビジョン2030」

私たちは、持続的なヘルスケアサービスを提供し、予測困難な時代に対応するレジリエントカンパニーとして、サステナブルな社会に求められる新たな価値を創出し続け、中核事業と新規事業の掛け合わせ（マルチプライ）による加速度的な成長を目指します。

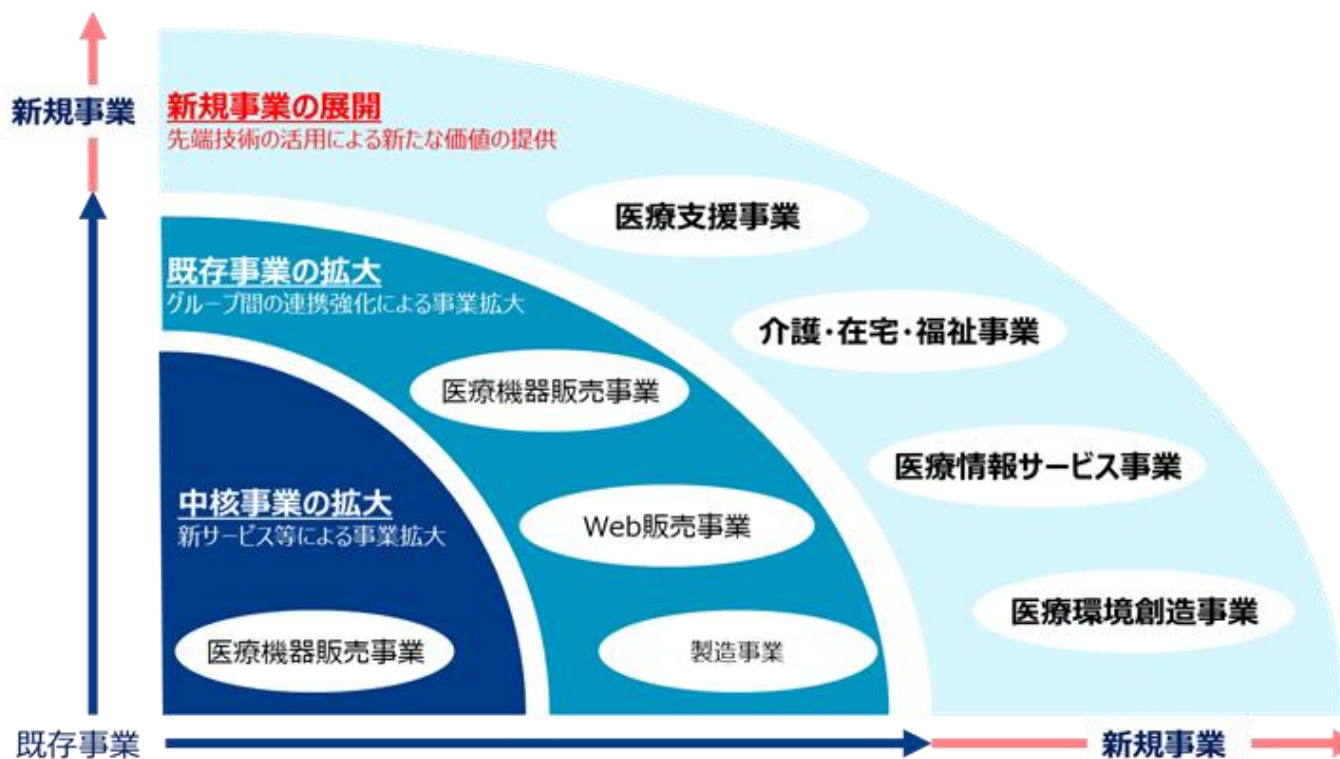
当社グループが目指す事業領域

長期ビジョン『マルチプライビジョン2030』では、中核事業との親和性が高い事業の拡充を図り、企業価値の持続的な成長を目指します。



当社グループの成長戦略の骨子

中核事業との連携を図りながら、新たな事業ポートフォリオの構築を通して、積極的な価値創出を目指します。





1. 2023年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 中期経営計画
5. 長期ビジョン
- 6. 今期の見通し**
7. 当社グループに関するご案内



【2024年5月期 業績見通し】

売上高 542億15百万円
営業利益 6億41百万円
経常利益 6億82百万円
親会社株主に帰属する当期純利益 4億64百万円
1株当たりの配当金 55円

〔今期の重点施策〕

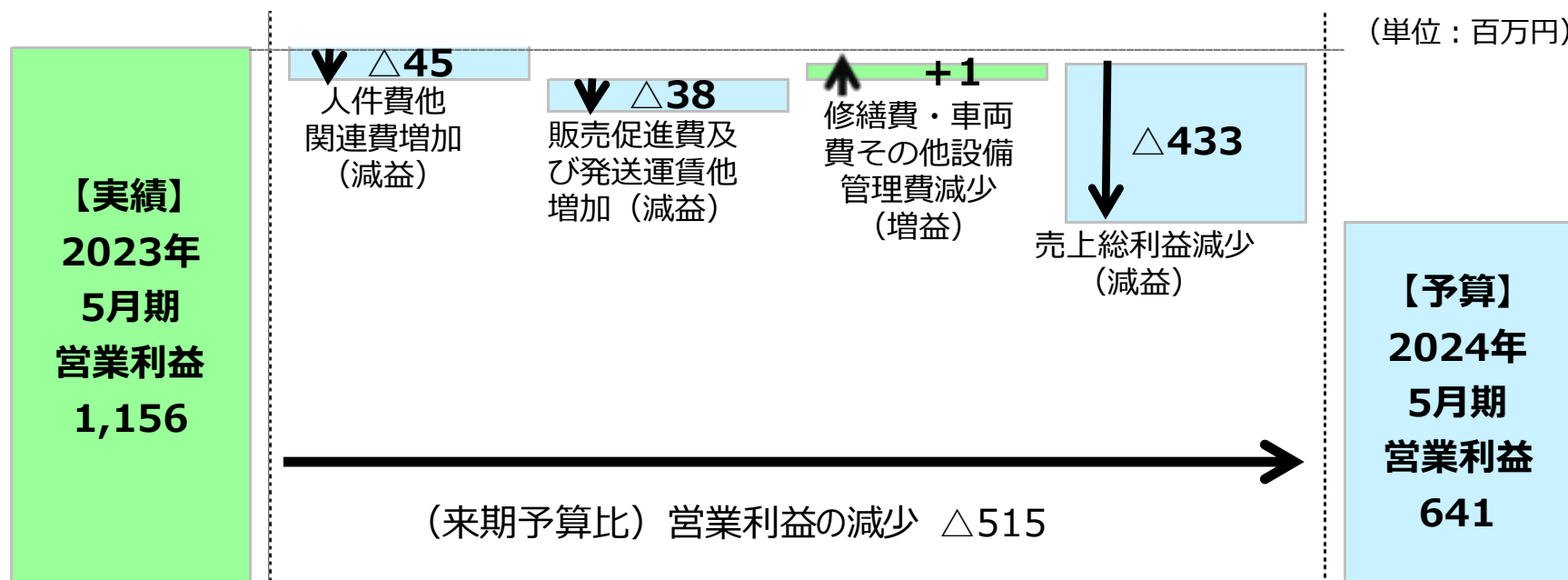
- (1) グループの経営機能・体制の確立と戦略機能の強化
- (2) ヘルスケア領域における新たな事業の創出
- (3) グループ人材の横断的な確保・育成・活用の体制構築
- (4) 物流体制における安定供給・品質維持の取り組み推進
- (5) D X の推進による顧客視点での価値創出



➤ 前期からの減収減益要因

- 医療機関における検査・手術件数が緩やかに回復することが期待される
- 前期は補助予算等によるコロナ関連商品の特需があったが今期は見込めず

(単位：百万円)





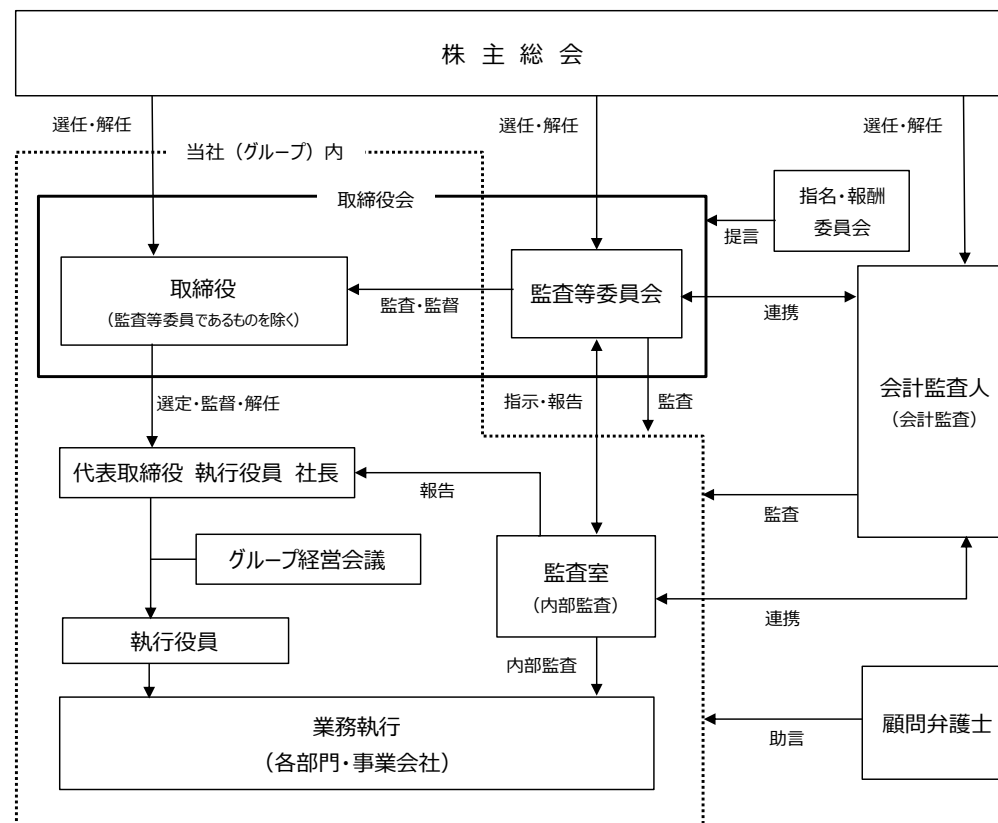
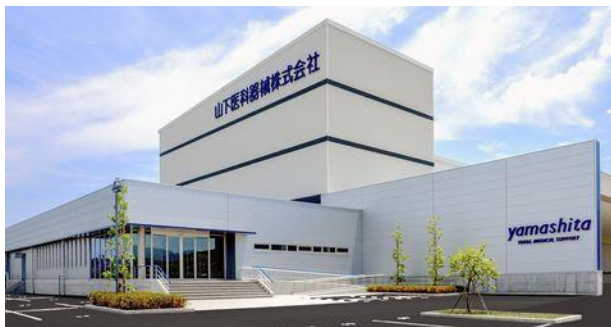
1. 2023年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 中期経営計画
5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



コーポレート・ガバナンス体制

当社におけるコーポレート・ガバナンスは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、企業倫理の向上に取り組みます。また執行役員制度を導入し、機動的な企業運営を行い、企業として健全な経営体制を構築しております。





マイクロソニック(株)へ出資

当社は、マイクロソニック株式会社（以下「マイクロソニック」）に対し出資を実施いたしました。これは、マイクロソニックがもつ知財、研究開発を支援することにより、超音波を用いた社会性の高い製品の実現化に寄与することを目的としたものです。（2022年9月30日付で3,000万円を出資）

女性の心身の負担を軽減する、乳がん検査デバイスとなるマンモエコーシステムを開発しており、将来的に上市を予定しております。

項 目	会社概要
企業名	マイクロソニック株式会社
代表者	入江 喬介
所在地	東京都国分寺市本町3-10-18 浅見ビル3階
設立日	2000年6月
事業概要	・医用超音波に関する受託研究、開発 ・超音波を用いた医療用機器、周辺機器の開発および販売 ・コンサルティング（医用超音波関連）





(株)クロスウェブの子会社化

当社は、同社の全株式を近日中に取得し、連結子会社化することといたしました。同社は、ネットワーク及びシステムインフラ構築事業を主体とし、地場企業や地方自治体の地域インフラの構築を行っており、近年は病院のネットワーク及びシステムインフラ構築・保守に注力し、医療機関に密着したきめ細かなサービスを提供しております。また、クロスウェブ社のネットワーク及びシステムインフラ構築事業は、当社グループと親和性が高く、今後もヘルスケア領域を含む社会全体のDX化は加速することが見込まれることから、当社グループの持続的な成長および企業価値最大化に資すると判断しました。

項 目	会社概要
企業名	株式会社クロスウェブ
代表者	中島 久喜
所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-1 サンセルコビル 5 階
設立日	2000年5月
事業概要	・ネットワーク構築 ・ソフトウェア受託開発 等





ESG経営への取り組み

当社は、環境的・社会的・経済的側面に配慮しながら、トータルヘルスケアサービスの事業活動に取り組み、地域とともにサステナブルな社会を実現し、企業価値向上を目指すことを重要課題と位置づけ、「ESG基本方針」を策定しております。

【ESG基本方針】



〔Environment：環境に対する方針〕

『私たちは、環境保全もまた人類共通の重要課題と認識します。当社グループの事業活動において、省エネルギーに資する設備の導入やエネルギー効率を高める運用改善などを推進し、CO2排出抑制と省エネルギーに貢献し、自然環境への配慮と負荷の低減に努めます。』

〔Social：社会に対する方針〕

『私たちは、地域、社会の期待に応える幅広いヘルスケアサービスの提供によって、地域の発展を支えています。また、価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成、多様性のある人材活用を通じ、全てのステークホルダーと協働することで、社会が抱える課題解決に取り組みます。』

〔Governance：ガバナンスに対する方針〕

『私たちは、関連法規をはじめ、コンプライアンス遵守に努め、社会の規範となる高度な倫理性に根ざした事業活動に努めます。また、経営の透明性を高めることにより、企業価値を更に向上させていきます。』



『社会貢献債』へのESG投資

当社は、独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行するソーシャルボンド（社会貢献債）※へ2021年6月に投資いたしました。このJICAが調達した資金は、JICAが実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されるものです。

当社及び当社グループは、今後も本債券をはじめとする社会貢献債等へのESG投資や、その他事業活動を通じて、環境や社会問題への取り組みを支援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への、投融資に利用されることを前提として発行される債券です。



学校建設/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



井戸開発/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



ウクライナ情勢を踏まえた人道的支援

当社は2022年5月、ウクライナ在日大使館及び日本国政府の要請に応じ、ウクライナおよびその周辺地域で避難を余儀なくされている方々への人道的支援のため、政府を通じて輸液装置※100台の提供を実施いたしました。

輸液装置は、同月 無事にドニプロペトロウシク州の州都ドニプロに到着し、近隣地域の医療施設で活用されている旨の報告を現地責任者より受けております。

※当社が資本業務提携 している製造販売会社 株式会社アイムの協力のもと、この輸液装置を提供いたしました。同商品名は自然落下制御式輸液装置「FLOWSIGN」で、電池式のため電源供給が困難な状況にあっても場所を選ばず、精密制御で安定的に利用できるようになっております。より安全で、精密で、使いやすく、しかも低コストである輸液装置をという医療現場の声に応えるべく、同社独自の特許技術をもって開発された商品となります。



自然落下制御式輸液装置
FLOWSIGN 03W



【当社グループに関するご案内】



『健康経営優良法人2023』認定

当社グループの山下医科器械株式会社は、経済産業省「健康経営優良法人認定制度」において、2年連続で「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」の認定を受けました。

健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している企業法人等を顕彰する制度です。

同社は経営理念「地域医療に貢献する」を実践するため、「健康経営方針」および「健康宣言」を掲げ、さまざまな取り組みを行っています。
今後も、当社グループでは関係機関と連携をとり、また指導をいただきながら、社員とともに健康経営への取り組みを進めてまいります。





【当社グループに関するご案内】



株主優待制度

〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単位（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施しております。

〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。
(当社オリジナルクオカード)

保有株式 / 保有期間	1年未満	1年以上3年未満 ※1,3	3年以上 ※2,3
100～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当

- ※1. 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。
- ※2. 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。
- ※3. 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。



〔株主優待の適用時期〕

継続保有期間の判定は、2018年5月31日を起算日とさせていただきます。

※証券会社の貸株サービスをご利用の株主様は、株主優待の対象から外れる場合がございますので、詳しくはご利用の証券会社にお尋ねください。



本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。
今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課

T E L : 092-402-2922

F A X : 092-402-2962

E - M A I L : legal@yamashitaika.co.jp

U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>

